

施策評価シート(平成26年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 環境清掃課	関連部課名	産業環境部観光商工課 企画部情報ネットワークセンター				
基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】							
施策名	環境保全							
騒音や公害、水質汚濁のない快適な生活環境にむけて、公害の監視体制の整備や公害防止対策、水質浄化対策、子どもたちを対象にした環境教育、市民や事業者に対する情報提供や学習機会の充実などを図り、環境意識の高揚や環境にやさしい生活・活動を促進します。								
施策が目指す蒲郡市の将来の姿								
<ul style="list-style-type: none"> ●騒音や公害のない、快適な環境で暮らしています。 ●すべての人が美しい海や自然環境の保全に理解を深め、自ら行動しています。 								

◆具体化した施策の取り組み実績

1 公害の監視体制の整備と公害防止対策の推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
公害苦情件数	236件	255	-
公害防除資金融資	実績なし	実績なし	-

2 不法投棄防止対策の推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
パトロールの強化	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施	不法投棄早期回収パトロール実施
不法投棄件数	150件	191件	-

3 水質浄化対策の推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画(実施済)
三河湾浄化店頭啓発事業	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施	水竹町フィール・竹谷町イオンで実施
環境講演会事業	蒲郡市立西部小学校 156人	蒲郡市立塩津小学校 517人	蒲郡市立西部小学校 253人

4 環境美化活動の推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
530運動実践活動への支援	197団体 12,814人	209団体 11,343人	-
春・秋のクリーンキャンペーン(年2回、統一実践))	56団体 1,199人	56団体 1,274人	-

5 環境教育の推進

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
里山自然観察会	相楽の森 23名	相楽の森 14名	10月25日実施予定
三河湾環境チャレンジ(干潟観察)	16回 853人	13回 692人	13回計画
科学館講座(干潟観察)	8回 370人	5回 385人	8回計画

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
公害苦情件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	236件	255件	268件	平成32年度
公害苦情件数のうちの不法投棄件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	150件	191件	200件	平成32年度
公害苦情件数のうちの野焼きの件数	目標値	-	-	-	-
	実績値	23件	13件	15件	平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
公害苦情件数	典型7公害(大気・水質・騒音・振動・悪臭・廃棄物・その他)の苦情件数
公害苦情件数のうちの不法投棄件数	公害苦情のうち廃棄物(不法投棄)の苦情件数
公害苦情件数のうちの野焼きの件数	公害苦情のうち大気(野焼き)の苦情件数

◆指標の分析

- ◆都市化・市民生活の多様化に伴い、日常生活に深く関わる新たな生活型の環境問題が顕在化している。
- ◆隣地で発生する騒音、悪臭に端を発する苦情が増えており、地域コミュニティの希薄化が進んでいると考えられる。
- ◆公害苦情件数は年々増加傾向にあり、中でも不法投棄の比率が年々増えており、特に家電4品目が多い。個人のモラルだけではなく、経済的理由によるものも起因しているものと考えられる。H26は経済状況が好転しているため、どのような変化があるか引き続き注視していく必要がある。
- ◆野焼きに関する苦情は平成25年度において減少に転じた。広報がまごおりやホームページでの周知の他、現場での指導も奏功し、繰り返し野焼きする人が減少しているのではないかと分析している。

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆隣地で発生する騒音、悪臭に起因する苦情増えていることから、人間関係上のトラブルに発展しないよう、個人情報を意識した配慮が必要である。 ◆家電4品目に代表されるリサイクル料金が発生するものの不法投棄が目立ち、さまざまな機会を捉え、啓発していく必要がある。 ◆今後も野焼きによる公害苦情が減少していくよう引き続き周知や指導に努めるとともに悪質なものは警察と連携し効果的な指導も行っていく。

今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ◆様々な環境問題に対応するため、市民・事業者・行政が連携して地域の特性に応じた環境保全を積極的に進めていくこと。 ◆美しいまちづくりを目指し、事業に継続性を持たせ、また環境教育の一環として実施していくためには、参加団体の拡大を行っていきたい。自分たちのまちは自分たちの手できれいにするという意識を持つもらうよう、また、ごみの減量化と合わせて日常の取組みとして定着するよう啓発をしていきたい。 ◆来年度も講師に内諾を得ており、毎年市内各小学校で実施する予定である。

課長評価	構成事業の進捗状況	C:計画より遅れている。
	施策の進め方	B:一部見直しが必要である。
	コメント	苦情処理業務は、隣人や地区でのつきあいの希薄化で、些細なことも行政に言ってくるとので、今後も増えていくと思われる。リサイクル家電の不法投棄は、捨てた人に必ず罰金を取ることができるようなしくみを作る(製品番号と購入者を特定できる)とか、購入するときにリサイクル料金を上乗せし、行政で回収できるようにするなど根本的に法律を変えないとなくならない。啓発だけでは、いつまでたってもなくならないし、今後も増え続けるであろう。

部長評価	施策の進捗状況	C:目指す将来像実現に向けて計画より進行が遅れている。
	コメント	子供の環境教育は定着していると思うが、市民全体でみると環境問題についても権利意識が高く、行政が主体的に問題解決するべきとの意識があるので、啓発の強化が必要であるが効果的が上がっていない。

施策に属する事務事業一覧

総合 計画	所管課	番号	事 業 名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
4-3	環境清掃課	296	公害苦情処理事業	2,880	8,550	1.65	B	力	—	×
4-3	環境清掃課	297	環境啓発事業（地球環境対策、こどもエコクラブ、出前講座）	181	3,729	0.65	A	力	—	×
4-3	環境清掃課	298	環境調査事業（河川水質、環境騒音、道路交通騒音、悪臭等）	589	3,921	0.80	A	力	—	×
4-3	環境清掃課	299	三河湾浄化推進事業	4,391	2,995	0.55	A	力	—	×
4-3	環境清掃課	301	環境美化事業	2,749	10,631	2.45	B	力	—	×